

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	入門および初級中国語						
授業の概要	中国語の発音体系から、基礎文法事項までを系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 イントロ 中国語の概要紹介 第2回 発音 単母音、声調、軽声 第3回 発音 複母音、音節、子音 第4回 発音 挨拶表現、音節表 第5回 第一課 名前のたずね方、動詞「是」、疑問文、助詞 第6回 第一課 閲読、練習問題 第7回 第二課 動詞「有」、動詞述語文、疑問詞疑問文、前置詞 第8回 第二課 閲読、練習問題 第9回 第三課 形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文、語気助詞 第10回 第三課 閲読、練習問題 第11回 第四課 動詞「在」、存在と所有文、連動文 第12回 第四課 閲読、練習問題 第13回 第五課 副詞「在」「正在」、助動詞「想」、一点、動詞接尾辞「了」 第14回 第五課 閲読、練習問題 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	入門および初級中国語						
授業の概要	中国語の発音体系から、基礎文法事項までを系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 イントロ 中国語の概要紹介 第2回 発音 単母音、声調、轻声 第3回 発音 複母音、音節、子音 第4回 発音 挨拶表現、音節表 第5回 第一課 名前のたずね方、動詞「是」、疑問文、助詞 第6回 第一課 閲読、練習問題 第7回 第二課 動詞「有」、動詞述語文、疑問詞疑問文、前置詞 第8回 第二課 閲読、練習問題 第9回 第三課 形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文、語気助詞 第10回 第三課 閲読、練習問題 第11回 第四課 動詞「在」、存在と所有文、連動文 第12回 第四課 閲読、練習問題 第13回 第五課 副詞「在」「正在」、助動詞「想」、一点、動詞接尾辞「了」 第14回 第五課 閲読、練習問題 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	魏 然						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	入門および初級中国語						
授業の概要	中国語の発音体系から、基礎文法事項までを系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 イントロ 中国語の概要紹介 第2回 発音 単母音、声調、軽声 第3回 発音 複母音、音節、子音 第4回 発音 挨拶表現、音節表 第5回 第一課 名前のたずね方、動詞「是」、疑問文、助詞 第6回 第一課 閲読、練習問題 第7回 第二課 動詞「有」、動詞述語文、疑問詞疑問文、前置詞 第8回 第二課 閲読、練習問題 第9回 第三課 形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文、語気助詞 第10回 第三課 閲読、練習問題 第11回 第四課 動詞「在」、存在と所有文、連動文 第12回 第四課 閲読、練習問題 第13回 第五課 副詞「在」「正在」、助動詞「想」、一点、動詞接尾辞「了」 第14回 第五課 閲読、練習問題 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	馮 誼光						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	入門および初級中国語						
授業の概要	中国語の発音体系から、基礎文法事項までを系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 イントロ 中国語の概要紹介 第2回 発音 単母音、声調、軽声 第3回 発音 複母音、音節、子音 第4回 発音 挨拶表現、音節表 第5回 第一課 名前のたずね方、動詞「是」、疑問文、助詞 第6回 第一課 閲読、練習問題 第7回 第二課 動詞「有」、動詞述語文、疑問詞疑問文、前置詞 第8回 第二課 閲読、練習問題 第9回 第三課 形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文、語気助詞 第10回 第三課 閲読、練習問題 第11回 第四課 動詞「在」、存在と所有文、連動文 第12回 第四課 閲読、練習問題 第13回 第五課 副詞「在」「正在」、助動詞「想」、一点、動詞接尾辞「了」 第14回 第五課 閲読、練習問題 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ⅠA						
担当教員	馮 誼光						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	入門および初級中国語						
授業の概要	中国語の発音体系から、基礎文法事項までを系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 イントロ 中国語の概要紹介 第2回 発音 単母音、声調、軽声 第3回 発音 複母音、音節、子音 第4回 発音 挨拶表現、音節表 第5回 第一課 名前のたずね方、動詞「是」、疑問文、助詞 第6回 第一課 閲読、練習問題 第7回 第二課 動詞「有」、動詞述語文、疑問詞疑問文、前置詞 第8回 第二課 閲読、練習問題 第9回 第三課 形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文、語気助詞 第10回 第三課 閲読、練習問題 第11回 第四課 動詞「在」、存在と所有文、連動文 第12回 第四課 閲読、練習問題 第13回 第五課 副詞「在」「正在」、助動詞「想」、一点、動詞接尾辞「了」 第14回 第五課 閲読、練習問題 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級中国語						
授業の概要	基礎文法事項を系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 第六課 可能助動詞「会」「能」、助動詞「要」、文末助詞「了」、仮定表現 第2回 第六課 閲読、練習問題 第3回 第七課 比較、前置詞「給」、動詞の重ね型、依頼表現 第4回 第七課 閲読、練習問題 第5回 第八課 方向動詞、二重目的語文、使役文、電話番号のたずね方 第6回 第八課 閲読、練習問題 第7回 第九課 結果補語、助詞「過」、動詞接尾辞「着」、動作と数量表現、前置詞「離」 第8回 第九課 閲読、練習問題 第9回 第十課 選択疑問文、可能助動詞「可以」、禁止表現、可能補語 第10回 第十課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第11回 第十一課 取り立て強調、まもなく～する、様態補語、趣味の表現 第12回 第十一課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第13回 第十二課 受け身文、処置文 第14回 第十二課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習してくること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	阿部 慎太郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級中国語						
授業の概要	基礎文法事項を系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 第六課 可能助動詞「会」「能」、助動詞「要」、文末助詞「了」、仮定表現 第2回 第六課 閲読、練習問題 第3回 第七課 比較、前置詞「給」、動詞の重ね型、依頼表現 第4回 第七課 閲読、練習問題 第5回 第八課 方向動詞、二重目的語文、使役文、電話番号のたずね方 第6回 第八課 閲読、練習問題 第7回 第九課 結果補語、助詞「過」、動詞接尾辞「着」、動作と数量表現、前置詞「離」 第8回 第九課 閲読、練習問題 第9回 第十課 選択疑問文、可能助動詞「可以」、禁止表現、可能補語 第10回 第十課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第11回 第十一課 取り立て強調、まもなく～する、様態補語、趣味の表現 第12回 第十一課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第13回 第十二課 受け身文、処置文 第14回 第十二課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習してくること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	魏 然						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級中国語						
授業の概要	基礎文法事項を系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 第六課 可能助動詞「会」「能」、助動詞「要」、文末助詞「了」、仮定表現 第2回 第六課 閲読、練習問題 第3回 第七課 比較、前置詞「給」、動詞の重ね型、依頼表現 第4回 第七課 閲読、練習問題 第5回 第八課 方向動詞、二重目的語文、使役文、電話番号のたずね方 第6回 第八課 閲読、練習問題 第7回 第九課 結果補語、助詞「過」、動詞接尾辞「着」、動作と数量表現、前置詞「離」 第8回 第九課 閲読、練習問題 第9回 第十課 選択疑問文、可能助動詞「可以」、禁止表現、可能補語 第10回 第十課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第11回 第十一課 取り立て強調、まもなく～する、様態補語、趣味の表現 第12回 第十一課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第13回 第十二課 受け身文、処置文 第14回 第十二課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習してくること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	馮 誼光						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級中国語						
授業の概要	基礎文法事項を系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 第六課 可能助動詞「会」「能」、助動詞「要」、文末助詞「了」、仮定表現 第2回 第六課 閲読、練習問題 第3回 第七課 比較、前置詞「給」、動詞の重ね型、依頼表現 第4回 第七課 閲読、練習問題 第5回 第八課 方向動詞、二重目的語文、使役文、電話番号のたずね方 第6回 第八課 閲読、練習問題 第7回 第九課 結果補語、助詞「過」、動詞接尾辞「着」、動作と数量表現、前置詞「離」 第8回 第九課 閲読、練習問題 第9回 第十課 選択疑問文、可能助動詞「可以」、禁止表現、可能補語 第10回 第十課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第11回 第十一課 取り立て強調、まもなく～する、様態補語、趣味の表現 第12回 第十一課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第13回 第十二課 受け身文、処置文 第14回 第十二課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IB						
担当教員	馮 誼光						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級中国語						
授業の概要	基礎文法事項を系統的に学習し、中国語検定試験準4級合格レベル程度の中国語基礎力を身に付ける。						
到達目標	中国語検定試験準4級合格レベルの基礎力を固める						
授業計画	第1回 第六課 可能助動詞「会」「能」、助動詞「要」、文末助詞「了」、仮定表現 第2回 第六課 閲読、練習問題 第3回 第七課 比較、前置詞「給」、動詞の重ね型、依頼表現 第4回 第七課 閲読、練習問題 第5回 第八課 方向動詞、二重目的語文、使役文、電話番号のたずね方 第6回 第八課 閲読、練習問題 第7回 第九課 結果補語、助詞「過」、動詞接尾辞「着」、動作と数量表現、前置詞「離」 第8回 第九課 閲読、練習問題 第9回 第十課 選択疑問文、可能助動詞「可以」、禁止表現、可能補語 第10回 第十課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第11回 第十一課 取り立て強調、まもなく～する、様態補語、趣味の表現 第12回 第十一課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第13回 第十二課 受け身文、処置文 第14回 第十二課 閲読、練習問題、中国語検定試験準4級模擬試験 第15回 期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	各課の練習問題を予習してくること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点（出席点、授業中のパフォーマンス）50% 定期試験50%						
教科書	チャイニーズ・ガーデン[改訂版]鄭萍、安力著、白帝社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	魏 然						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	リン 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IC						
担当教員	リン 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	会話力を身につけ、コミュニケーションを可能とするテキストを使用し、初級段階の基礎固めを目指す。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんでもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 発音①声調、母音</p> <p>第三回 第二課 発音②子音、人称名詞、文の構造、声調変化①</p> <p>第四回 第三課 発音③鼻母音、時間名詞、声調変化②、教室用語</p> <p>第五回 第四課 名前の尋ね方と答え方、存在表現、量詞、疑問詞疑問文</p> <p>第六回 第五課 日付・曜日の尋ね方と答え方、年齢の聞き方</p> <p>第七回 第六課 指示詞、名詞化する“的”、反復疑問文</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 時間の尋ね方・答え方、願望・意思を表す助動詞、文末の語気助詞</p> <p>第十回 第八課 方法・手段を問う疑問文、意思を表す助動詞“要”、形容詞述語文</p> <p>第十一回 第九課 好き嫌いの言い方、疑問表現</p> <p>第十二回 第十課 値段の聞き方、値切り方、“太～了”、“行不行？”</p> <p>第十三回 第十一課 “也”と“都”、“～できる”、“左右”</p> <p>第十四回 第十二課 時間の表し方、“まもなく～だ”、“…する以外に、さらに”、二つの“了”</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点30%、小テスト20%、定期テスト50%などを総合評価						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 基礎編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	魏 然						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力が付いていることを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていることを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	リン 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語ID						
担当教員	リン 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語入門／基礎会話						
授業の概要	「基礎編」に引き続き、「応用編」でより豊かな会話力を身につけ、コミュニケーションを磨く。シャドーイングメソッドを使った本テキストにはCDが付属され、中国語の難関である発音の練習が可能。まじめにコツコツと履修すれば、いつのまにか実力がついていくことを実感できるであろう。特に、シャドーイングを通して発音とヒヤリングに力を注ぎ、中国語という外国語の音になじんで、コミュニケーションな中国語を身につけてもらいたい。						
到達目標	中国語の発音を掌握する						
授業計画	<p>第一回 イン트로</p> <p>第二回 第一課 “是～的”の構文、反復疑問文</p> <p>第三回 第二課 前置詞“離”、形容詞の反復疑問文、時間の量の聞き方</p> <p>第四回 第三課 時間のポイントの聞き方、助動詞の反復疑問文、動詞の反復疑問文</p> <p>第五回 第四課 許可を求める助動詞“可以”、連動文、推量・勧誘・軽い命令の語気助詞</p> <p>第六回 第五課 少し、できる三兄弟“会・能・可以”、前置詞“給”</p> <p>第七回 第六課 結果補語、全否定「少しも～でない」</p> <p>第八回 中間テスト・復習</p> <p>第九回 第七課 積極的な動作を表す“来”、比較の仕方“A比B”と“A没有B”、可能補語</p> <p>第十回 第八課 助動詞「～すべき」、 “不要”と“不用”、様子を問う疑問文</p> <p>第十一回 第九課 “没”（過去の否定と“有”の否定）、目的語を前掲する処置式、方向補語</p> <p>第十二回 第十課 使役文、兼語文、AとBは同じ</p> <p>第十三回 第十一課 様態補語、“越来越”、“越A越B”、受動文、動量詞</p> <p>第十四回 第十二課 状態の継続、～しながら…する、中国語歌唱『ふるさと』</p> <p>第十五回 まとめ・期末テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎授業後に練習問題で復習するとともに、付属CDで、授業前、授業後にシャドーイング練習をする。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	シャドーイングメソッドを使って学ぶ中国語『聴ける話せる中国語 応用編』金星堂 古川 典代著						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIA						
担当教員	魏 然						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり）</p> <p>第六回 第四課 何を飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点、出席率、小テストなどを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIA						
担当教員	魏 然						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり）</p> <p>第六回 第四課 何を飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点、出席率、小テストなどを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIA						
担当教員	張 麗娜						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 中国（語）あれこれ イン트로</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 基礎のおさらい</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとつくり）</p> <p>第六回 第四課 何を飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点、出席率、小テストなどを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	魏 然						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点・出席点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	魏 然						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点・出席点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIB						
担当教員	張 麗娜						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！（結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？（方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期テスト</p> <p>第十五回 テスト講評</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点・出席点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIC						
担当教員	安 力						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中級中国語						
授業の概要	会話文のスキットと講読を組み合わせ、中級中国語の会話力、読解力を身に付けさせる。						
到達目標	中国語検定試験4級または3級合格の実力をつける。						
授業計画	第一回 イントロ・基礎復習 第二回 第一課 会話 「自己紹介」 第三回 第一課 講読 「家族写真」 第四回 第二課 会話 「メーデー」 第五回 第二課 講読 「誕生日祝い」 第六回 第三課 会話 「デート」 第七回 第三課 講読 「私の一日」 第八回 第四課 会話 「道を尋ねる」 第九回 第四課 講読 「十月の北京」 第十回 第五課 会話 「スポーツ」 第十一回 第五課 講読 「姉への手紙」 第十二回 第六課 会話 「趣味を語る」 第十三回 第六課 講読 「民族音楽家」 第十四回 期末試験 第十五回 中国語検定試験4級模擬試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習をしっかりとすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50% 期末試験・中検模擬試験 50%						
教科書	『ブラッシュアップ中国語』沈国威・中川正之著、朝日出版社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIC						
担当教員	張 麗娜						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中級中国語						
授業の概要	会話文のスキットと講読を組み合わせ、中級中国語の会話力、読解力を身に付けさせる。						
到達目標	中国語検定試験4級または3級合格の実力をつける。						
授業計画	第一回 イントロ・基礎復習 第二回 第一課 会話 「自己紹介」 第三回 第一課 講読 「家族写真」 第四回 第二課 会話 「メーデー」 第五回 第二課 講読 「誕生日祝い」 第六回 第三課 会話 「デート」 第七回 第三課 講読 「私の一日」 第八回 第四課 会話 「道を尋ねる」 第九回 第四課 講読 「十月の北京」 第十回 第五課 会話 「スポーツ」 第十一回 第五課 講読 「姉への手紙」 第十二回 第六課 会話 「趣味を語る」 第十三回 第六課 講読 「民族音楽家」 第十四回 期末試験 第十五回 中国語検定試験4級模擬試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習をしっかりとすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50% 期末試験・中検模擬試験 50%						
教科書	『ブラッシュアップ中国語』沈国威・中川正之著、朝日出版社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IID						
担当教員	安 力						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中級中国語						
授業の概要	会話文のスキットと講読を組み合わせ、中級中国語の会話力、読解力を身に付けさせる。						
到達目標	中国語検定試験4級または3級合格の実力をつける。						
授業計画	第一回 前期復習 第二回 第七課 会話 「旅行」 第三回 第七課 講読 「自転車王国」 第四回 第八課 会話 「ホテルフロント」 第五回 第八課 講読 「三人の和尚が飲み水に困る」 第六回 第九課 会話 「買い物」 第七回 第九課 講読 「笑顔でお迎え」 第八回 第十課 会話 「学校の保健室で」 第九回 第十課 講読 「カバンが重すぎる」 第十回 第十一課 会話 「訪問」 第十一回 第十一課 講読 「恋人たちの金銭問題」 第十二回 第十二課 会話 「誰がおごるの？」 第十三回 第十二課 講読 「笑顔のおもてなし」 第十四回 期末試験 第十五回 中国語検定試験4級模擬試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習をしっかりとすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50% 期末試験・中検模擬試験 50%						
教科書	『ブラッシュアップ中国語』沈国威・中川正之著、朝日出版社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IID						
担当教員	張 麗娜						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	中級中国語						
授業の概要	会話文のスキットと講読を組み合わせ、中級中国語の会話力、読解力を身に付けさせる。						
到達目標	中国語検定試験4級または3級合格の実力をつける。						
授業計画	第一回 前期復習 第二回 第七課 会話「旅行」 第三回 第七課 講読「自転車王国」 第四回 第八課 会話「ホテルフロント」 第五回 第八課 講読「三人の和尚が飲み水に困る」 第六回 第九課 会話「買い物」 第七回 第九課 講読「笑顔でお迎え」 第八回 第十課 会話「学校の保健室で」 第九回 第十課 講読「カバンが重すぎる」 第十回 第十一課 会話「訪問」 第十一回 第十一課 講読「恋人たちの金銭問題」 第十二回 第十二課 会話「誰がおごるの？」 第十三回 第十二課 講読「笑顔のおもてなし」 第十四回 期末試験 第十五回 中国語検定試験4級模擬試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習をしっかりとすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50% 期末試験・中検模擬試験 50%						
教科書	『ブラッシュアップ中国語』沈国威・中川正之著、朝日出版社						
参考書							

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIA						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語の資格を取得						
授業の概要	中国語の資格を目指そう！ 中国語検定の4級取得を目指す。本校が神戸会場となっている中国語検定試験を始め、中国語ビジネス検定試験、HSKなど各種検定を紹介するとともに、模擬テストを行う。中国語検定試験はこれからの就職活動に役立つ資格試験であり、対中ビジネスにかかわる企業にとっては中国語を理解する人材は貴重。試験に強い中国語学習の仕方を学び取ってもらう。						
到達目標	中国語検定試験の出題形式に慣れ、4級取得を目指す。						
授業計画	第一回 中国語検定あれこれ イン트로 第二回 中国語検定過去問 第三回 見なおし、弱点分析 第四回 リスニング過去問 第五回 見なおし、強化練習 第六回 中国の文化紹介1（歌、映画、ドラマなど） 第七回 中国語検定対策 第八回 中国語検定練習問題 第九回 ビジネス中国語検定紹介 第十回 HSK定紹介 第十一回 過去問 第十二回 弱点強化 第十三回 中国の文化紹介2 第十四回 模擬試験 第十五回 テスト講評、見直し						
授業外における学習（準備学習の内容）	これまでのテキストの付属CDを聞き、リスニング力を身に付けてください。						
授業方法	講義、模試						
評価基準と評価方法	日常点50%、模擬テスト50%						
教科書	授業中にプリントを配布する						
参考書	授業中に紹介する						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIB						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語の資格を取得						
授業の概要	中国語の資格を目指そう！ 中国語検定の3級取得を目指す。本校が神戸会場となっている中国語検定試験を始め、中国語ビジネス検定試験、HSKなど各種検定を紹介するとともに、模擬テストを行う。中国語検定試験はこれからの就職活動に役立つ資格試験であり、対中ビジネスにかかわる企業にとっては中国語を理解する人材は貴重。試験に強い中国語学習の仕方を学び取ってもらう。						
到達目標	中国語検定試験の出題形式に慣れ、3級取得を目指す。中国語スピーチコンテストや中国語カラオケ大会にも積極的に取り組む。						
授業計画	第一回 中国語検定試験の現状紹介 第二回 中国語検定過去問 第三回 見なおし、弱点分析 第四回 リスニング過去問 第五回 見なおし、強化練習 第六回 中国の文化紹介3（歌、映画、ドラマなど） 第七回 中国語検定対策 第八回 中国語検定練習問題 第九回 ビジネス中国語検定紹介 第十回 HSK試験紹介 第十一回 過去問 第十二回 弱点強化 第十三回 中国の文化紹介4 第十四回 模擬試験 第十五回 テスト講評、見直し						
授業外における学習（準備学習の内容）	これまでのテキストの付属CDを聞き、リスニング力を身に付けてください。						
授業方法	講義、模試						
評価基準と評価方法	日常点50%、模擬テスト50%						
教科書	授業中にプリントを配布する						
参考書	授業中に紹介する						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIIC						
担当教員	魏 然						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語上級会話						
授業の概要	上級中国語のマスターを目指す。中国語で自己紹介し、コミュニケーションできる能力を養う。就職活動や各種コンテストに有利なように、会話力を身につける。						
到達目標	自己紹介やビジネス中国語の会話力を身につける。						
授業計画	第一回 イントロ 第二回 自己紹介練習 第三回 自己紹介パフォーマンス 第四回 会話練習 第五回 リスニング練習 第六回 Q&A 第七回 小テスト 第八回 会話練習 第九回 リスニング練習 第十回 Q&A 第十一回 小テスト 第十二回 会話練習 第十三回 リスニング練習 第十四回 テーマ発表 第十五回 まとめ、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	教室外でも、中国人留学生や教員と積極的に中国語で会話する。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	評価方法：日常点30%、会話などのパフォーマンス20%、模擬テスト、定期テスト50%などの成績を総合的に評価する。						
教科書	授業中に紹介します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語IIID						
担当教員	魏 然						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語上級会話						
授業の概要	中国語Ⅰ、中国語Ⅱの基礎および中級をさらに発展させた上級を目指す。コミュニケーション能力を磨いて、就活や各種コンテストに役立つ。終了後は中国語検定3級もしくは2級合格レベルの中国語力を身につけていることが望ましい。						
到達目標	自己紹介やビジネス中国語の会話力を身につける。						
授業計画	<p>第一回 イントロ</p> <p>第二回 自己紹介</p> <p>第三回 Q&A</p> <p>第四回 会話練習</p> <p>第五回 リスニング練習</p> <p>第六回 Q&A</p> <p>第七回 小テスト</p> <p>第八回 会話練習</p> <p>第九回 リスニング練習</p> <p>第十回 Q&A</p> <p>第十一回 小テスト</p> <p>第十二回 会話練習</p> <p>第十三回 リスニング練習</p> <p>第十四回 テーマ発表</p> <p>第十五回 まとめ、期末試験</p> <p>その他、他の授業でわからなかったことの復習など、リクエストに応じてフレキシブルに対応する。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	教室外でも、中国人留学生や教員と積極的に中国語で会話する。						
授業方法	講義、演習						
評価基準と評価方法	日常点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	授業中に紹介する。						
参考書	授業中に紹介する。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語会話A						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2~4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第一回 基礎中国語のおさらい</p> <p>第二回 第一課 中国アラカルト（中国と中国語、中華料理と中国語、漢字の種類）会話練習</p> <p>第三回 第二課 発音のおさらい（声調、音節構造、母音、子音、有気音・無気音、そり舌音、鼻音）</p> <p>第四回 フリートーク、会話練習</p> <p>第五回 第三課 こんにちは！（声調変化、挨拶の仕方、名前の尋ね方・答え方、へんとづくり）</p> <p>第六回 第四課 何を飲みになりますか？（動詞述語文、形容詞述語文、疑問詞、中国茶の種類）</p> <p>第七回 第五課 これは何ですか？（指示代詞、連体修飾の“的”、調理器具、疑問文あれこれ）</p> <p>第八回 小テスト、中国語の歌紹介</p> <p>第九回 第六課 いくらですか？（値段の聞き方・値切り方、数の聞き方、量詞、文末の語気助詞）</p> <p>第十回 第七課 トマトはどこにありますか？（存在・所有、場所の示し方、並列・列挙、処置式）</p> <p>第十一回 第八課 何人家族ですか？（親族呼称、歳の尋ね方、比較の仕方、二つの“了”、できる）</p> <p>第十二回 第九課 誕生日は何月何日ですか？（日にちの聞き方、時間・曜日の表し方、選択疑問文）</p> <p>第十三回 自己紹介 会話練習</p> <p>第十四回 総まとめ・前期会話テスト</p> <p>第十五回 テスト講評、見直し</p> <p>* 「中国語ⅡA」と同じテキストを用い、会話を主として授業展開していく</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点、出席率、小テストなどを総合して判断する						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	中国語会話B						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	中国語実用会話						
授業の概要	<p>1. この授業では、中国語の運用実践を多く取り入れてコミュニケーション可能な語学力を育成することを目的とする。</p> <p>2. 中華料理のメニューの読み方、オーダーの仕方、麻婆豆腐や水餃子の作り方などを中国語理解の上で学習し、実践の場で役立てることを目指す。</p> <p>3. ビデオなどの映像補助で中国文化に対する知識と理解を深め、ロールプレイなどの作業を取り入れて五感で中国語を習得できるよう導く。</p> <p>4. 中国語で歌を最低1曲は習得し、中国人とのコミュニケーション手段として中華カラオケを活用できるようにする。</p>						
到達目標	役に立つ実用会話の習得を目指す。						
授業計画	<p>第一回 前期おさらい フリートーク</p> <p>第二回 第十課 今、何をしているの？（動作・状態の進行継続、動詞の重ね型、使役、食材）</p> <p>第三回 第十一課 ゆであがった、熱いうちにどうぞ！ （結果補語、積極性を表す“来”、前置詞“給”、味の評価の仕方、火加減と油の温度）</p> <p>第四回 第十二課 すみません、ロイヤルホテルにはどういったらいいですか？ （方法・手段を尋ねる、時間の量を尋ねる、～しながら…する、新年のメニュー）</p> <p>第五回 中国語でロールプレイ</p> <p>第六回 第十三課 電話で宴会を予約する（“一”の読み方、電話のしかた、予約の取り消し方、仮定）</p> <p>第七回 第十四課 四川飯店にて（方向補語、複合方向補語、セットメニューの例）</p> <p>第八回 第十五課 お料理がきましたよ（動作の順番、マルチな動詞、何・どのように、行事と食習慣）</p> <p>第九回 小テスト、おさらい</p> <p>第十回 中国の歌、映画、ドラマの紹介</p> <p>第十一回 第十六課 麻婆豆腐（レシピの中国語）</p> <p>第十二回 第十七課 水餃子（レシピの中国語）</p> <p>第十三回 総まとめ、質疑応答</p> <p>第十四回 見直し、後期会話テスト</p> <p>第十五回 就活面接対策</p> <p>* 「中国語ⅡB」と同じテキストを使用し、会話を主として進めていく</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常の中に埋もれている中国語を敏感にキャッチし、中国語に反応する体質を作ること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点・出席点：30% 小テスト・宿題：20% 定期テスト：50%						
教科書	古川典代／福富奈津子 著 『料理で学ぶオイシイ中国語』（朝日出版社）						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	ビジネス中国語A						
担当教員	古川 典代						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	1.0
授業のテーマ	初級ビジネス中国語						
授業の概要	経済面では切っても切れない関係にある隣国中国、ほとんどの業界で中国とは何らかの繋がりを持っている。そのビジネスパートナーとの通信や交流で不可欠なのが中国語。日常会話の中国語から、一歩進んだビジネスで使う中国語を理解し、活用できるように学習する。						
到達目標	ビジネスで使う中国語を学習し、就活や社会に出てからも活用できるような基礎力をつける。						
授業計画	第1回 第一課 オフィスを訪ねる 第2回 ビジネス中国語会話① 第3回 第二課 レストランに食事に行く 第4回 ビジネス中国語会話② 第5回 第三課 銀行にて 第6回 ビジネス中国語会話③ 第7回 第四課 商談をする 第8回 ビジネス中国語会話④ 第9回 第五課 宴会のセッティングをする 第10回 ビジネス中国語会話⑤ 第11回 第六課 有給休暇を取る 第12回 ビジネス中国語検定試験模試 第13回 第七課 フライトを待つ 第14回 期末試験（筆記・会話） 第15回 総括						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDを聞きながら、テキストを予習してきてください。授業後は簡単な会話ができるように、復習してください。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50%（出席点、小テスト、授業中のパフォーマンス） 定期試験・模擬試験 50%						
教科書	『やさしいビジネス中国語』三猪正道・金子伸一 朝日出版社 ISBN978-4-255-45136-7						
参考書	『ビジネス中国語単語ベーシック1000』古川典代監訳 三省堂 ISBN978-4-385-36547-3						

科目区分	外国語科目（中国語）						
科目名	ビジネス中国語B						
担当教員	古川 典代						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	初級ビジネス中国語						
授業の概要	経済面では切っても切れない関係にある隣国中国、ほとんどの業界で中国とは何らかの繋がりを持っている。そのビジネスパートナーとの通信や交流で不可欠なのが中国語。日常会話の中国語から、一歩進んだビジネスで使う中国語を理解し、活用できるように学習する。さらに、ビジネス中国語検定受験対策も行う。						
到達目標	ビジネスで使う中国語を学習し、就活や社会に出てからも活用できるような基礎力をつける。						
授業計画	第1回 第八課 アフターサービス 第2回 ビジネス中国語会話⑥ 第3回 第九課 コンテナ輸送 第4回 ビジネス中国語会話⑦ 第5回 第十課 待遇 第6回 ビジネス中国語会話⑧ 第7回 第十一課 病院にて 第8回 ビジネス中国語会話⑨ 第9回 第十二課 国際入札 第10回 ビジネス中国語会話⑩ 第11回 第十三課 財務 第12回 ビジネス中国語検定試験模試 第13回 ビジネス中国語会話まとめ 第14回 期末試験（筆記・会話） 第15回 総括						
授業外における学習（準備学習の内容）	付属CDを聞きながら、テキストを予習してきてください。授業後は簡単な会話ができるように、復習してください。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	日常点 50%（出席点、小テスト、授業中のパフォーマンス） 定期試験・模擬試験 50%						
教科書	『やさしいビジネス中国語』三猪正道・金子伸一 朝日出版社 ISBN978-4-255-45136-7						
参考書	『ビジネス中国語単語ベーシック1000』古川典代監訳 三省堂 ISBN978-4-385-36547-3						